

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		広々としたワンフロアで、基準は満たしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上のスタッフを配置している。当日利用の児童の様子により、スタッフの配置数を増やして対応している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			トイレが少し狭いがスタッフ間で協力してトイレ介助も安全に行う事が出来ている。フロアもトイレもフラット。ただしトイレが狭く車いすが入る事が難し為、検討中。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			常にスタッフ間で情報を共有出来ている。問題点はその都度、話し合いをしている。
	⑤	保護者等向け評価票を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	現在、アンケート調査は実施できていないが、今後は実施予定である。日々、保護者の意見を集める意識を持ちやりとりをしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今回から公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実行はしていないが外部評価の機会があれば利用したい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修に参加している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様の聞き取りをベースにニーズ・課題・目標を取り入れ、利用者様の日中の様子や活動の様子を考慮し長期・短期目標を決め支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	使用していない為、アセスメントツールを策定し、活用していきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な 支援の 提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		毎月1回の会議にて、スタッフ全員で次月のプログラムを検討し、担当スタッフがそれぞれ中心になり取り組んでいる。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	○			スタッフ間で話し合いを行い、同じ内容に偏ることがないように取り組んでいる。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		クッキングや外出等、おおまかな内容しか設定できていない。今後は、課題を具体的にしたい。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		それぞれの状況に応じて計画を立てている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必ず朝礼を行い1日の予定や児童の様子、スタッフの役割分担等を確認し、共通認識を持って取り組んでいる
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			終礼時に、1日の振り返りや、添乗時の保護者様との会話や車内での子供達の様子を伝え合い、スタッフ間で共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			朝礼・終礼ファイルに1日の様子を書き、その都度問題点の改善に努めている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			児童発達支援管理責任者が毎月モニタリングをしている。最長でも6ヶ月ごとに計画を見直し、児童の状況によりその都度計画の立て直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		今後はガイドラインの基本活動と事業所での活動を融合し、良い支援が出来るように、事業所で活動内容の見直しや勉強会を開き、スキルアップを図る。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		基本は、児童発達支援管理責任者が担当者会議に出席しているが、児童の様子等で必要と判断した場合は、スタッフと2名で出席している。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		新学期には各学年の年間計画や下校時間のプリント等を保護者様に頂いている。学校からの注意事項やお願等はすぐに対応させていただいている。
	22 医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在は主治医との連携はないが必要な場合には体制を整える。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	できていない。就学前の情報は、保護者からの聞き取りのみであるため、今後は連携を図っていききたい。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在ではできていない。今後、必要に応じて情報提供や連携がとれる方法を検討したい。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			会議等には参加している。また、今後の療育の方向性等を相談している。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在は、交流がない。今後は、交流の機会を作ることができるように働きかける。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	現在参加していない。機会があれば、参加する。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の様子は連絡帳や送迎時に伝えている。また、気になる様子等があれば、時間を設けて保護者と話す機会を作っている。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングと言えることはできていない。今後は、研修への参加や事業所内での勉強会を開催し、力をいれる。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			見学・契約時に伝えている。再度、質問があれば伝えている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談等があれば、ゆつくり話せるように時間を設けている。
	32	父の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		年に3回以上、事業所内で親の会を開催し、保護者同士で直接話せる時間を設定している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があれば、迅速に対応している。保護者への周知は、今後周知できる内容であれば周知できるようにしたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、おたよりを発行し当月の児童の様子や来月の予定等を伝えている。また、毎月ブログを更新し、様子を伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の書類は、鍵がかかる所定の場所に保管し、不要な書類はシュレッダーで処分している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々に合った伝達方法。言葉かけジェスチャー、絵カード、などを取り入れている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		現在はないが今後、機会があれば行う。夏祭りやクリスマス会など地域の方に参加出来るイベントを検討中。(現在は未定)
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			掲示して、いつでも見られる状態にしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1回行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			不定期ではあるが、社内外の研修に参加している

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時の 対応	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束をおこなうかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在、身体拘束が必要な場合はないが、今後必要な場合は保護者と十分に検討をし、個別支援計画書に記載する。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者にアレルギー等の聞き取りを行い、事業所内で対応を統一している。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成し、スタッフがいつでも閲覧できる状況である。また、毎月の会議や朝礼・終礼時に振り返りを行っている。